

資料 4

就労支援部会__専門部会報告シート

部会名	就労支援部会		報告回	令和2年度第2回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等	
	1	◎高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの 所長	
	2	○桑田 利重	地域生活支援センターみ～な センター長	
	3	玉上 博康	ワークショップさかえ 施設長	
	4	田村 智久	府中市パーキンソン病友の会 会長	
	5	塚本 美樹	府中公共職業安定所 専門援助部門統括職業指導官	
	6	松田 豊	東京都立府中けやきの森学園 教諭	
	※部会長は◎、副部会長は○			
現状	<p>「障害者の雇用の促進等に関する法律(障害者雇用促進法)」の改正により、平成30年4月から障害者の法定雇用率が引き上げられ、雇用の拡大が期待される中、障害者本人だけでなく、雇用する企業側にも悩みがあることが、平成30年度から開催されている「障害者雇用相談会」において明らかとなっている。そこで障害者雇用を促進するため、障害者本人及び企業に対して雇用につながるための支援および雇用を定着させる支援が必要である。</p>			
検討 テーマ (概要)	<p>「障害のある方が安心して働き続けられる地域(社会)を構築する」をメインテーマに、市内の中小企業の障害者雇用促進のために必要なこと、就労定着のために必要なことについて、障害者雇用を支援している現場(就労移行支援事業所)からの声を集約しながら議論を進め、地域の課題を抽出する。</p>			
取組 経過	<p>【令和元年度の取組】 障害者本人側からと企業側から、雇用に向けた支援および定着に向けた支援について、現状と課題、解決策について意見を集約した。</p> <p>【令和二年度の取組】 令和元年度の協議より見えてきた課題の中から市内の中小企業の雇用促進に着目し、就労移行支援事業所にアンケートを実施し、中小企業の障害者雇用促進を目指し、支援をしている現場の声を聞き、障害のある方が安</p>			

	<p>心して働き続けることができる地域を構築するために必要となる支援を抽出する。</p>
<p>検討 結果</p>	<p>1 むさし府中商工会議所訪問について</p> <p>(1) 当初の予定ではむさし府中商工会議所の会員を招き、障害者雇用に関する現状や、困っていること、どのようなサポートがあれば雇用できるのか、今以上に雇うことができるかなどのヒアリングを考えていたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している中、対面でのヒアリングは控えることとした。アンケートや電話による聞き取りなども検討したが、今年度は見送ることとした。</p> <p>2 就労移行支援事業所へのアンケートについて</p> <p>(1) 1の代案として府中市障害者就労支援機関連絡会のメンバー、就労移行支援事業所を対象にアンケートを実施し、支援者側からの企業とのやり取りでの課題等を聞くことで問題点を明らかにし、必要な支援について抽出することとした。</p> <p>(2) アンケートについて</p> <p>ア 対象</p> <p>市内8か所の就労移行支援事業所</p> <p>イ アンケート内容（参考資料1参照）</p> <p>就労移行支援・定着支援それぞれについて以下の内容を質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援するにあたって重視していること ・企業から求められたこと ・企業側に不足していると感じること ・障害者の雇用を広げる（働き続ける）ために不足していること ・障害者の雇用（定着）についての悩みや不安について ・障害者の雇用を広げる（働き続ける）ために府中市に期待すること <p>ウ スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援機関連絡会にて、アンケート調査に関する依頼 ・8月中にアンケートを実施、回収 ・第3回専門部会にてアンケート結果を踏まえ検討

3 就労移行支援事業所へのアンケート結果について

(1) 就労移行支援の現状と課題について

就労に結びついた経路としてはハローワークなどの求人や、就労移行支援事業所が開拓した会社などとなっているが、雇用実績のある企業から就労しているケースが多い。障害者雇用の実績がある企業であれば再度雇用をしてもらえることが期待できることから、最初の1人目の雇用への支援が必要だと考えられる。

また、マッチングに必要な視点としてその人の障害特性に合った仕事内容、就労時間などの労働条件や、本人と企業による定期的な面談などのフォローアップ体制など、企業側に障害者を受け入れる体制が必要である。

障害者の雇用を広げるためには、障害者が企業で働くための力を付けていく訓練も必要だが、支援者が企業にも障害者を理解してもらおう働きかけをしていることがわかった。

障害者の雇用を広げるために府中市に期待することとして、市内の企業に対し障害者雇用の啓発、広報活動を行うことや、府中市の障害者雇用の促進が挙げられた。

(2) 就労定着支援の現状と課題について

就労が定着しなかった理由として、病状の悪化、仕事内容、人間関係などが挙げられた。

定着のためには障害者本人の理解者が必要であり、就労定着支援や就労支援センターの支援者が本人側からの相談と企業側からの相談を受け止め、お互いに理解しあえる関係性を構築することが大切である。

障害者が働き続けるために府中市に期待することとして、障害者雇用を希望する企業への情報発信、合理的配慮の周知徹底、就労支援センターの強化、バリアフリーの支援やジョブコーチの配置、就労後のフォローの強化、家族支援、生活支援などがあげられた。

(3) 府中市が企業の障害者雇用を促進するためにできること

・府中市はくらやみ祭りなど大きなお祭りがあり、地元を大切にしている人々が多くいる街である。商工会議所や青年会議所、ライオンズクラブ、

ロータリークラブなどにPRすることによって、障害者を受け入れてもらえる企業もあるのではないかと。

- ・ ツイッターや動画で就労移行支援や障害者雇用のPRをする。
- ・ 子供のころからの情報が書かれたちゅうファイルに、本人目線で作成された就労パスポート、支援者目線で作成された就労アセスメントなどを合わせて活用し、企業に障害者本人のことを理解してもらうツールとする。

4 今後の活動

アンケートから問題点を抽出し、障害のある方が安心して働き続けることができる地域を構築するために必要な支援について考える。

会議開催状況と内容		日程	内容
	第1回	6月26日	<p><中小企業の障害者雇用の現状について現場の声を聞くための方法について> 出席委員5名</p> <p>*むさし府中商工会議所への訪問または対面でのヒアリング実施は難しいと判断。アンケートの実施について議論したが、見送ることとした。</p> <p>*代案として就労移行支援事業所へのアンケートを実施することを確認した。</p>
	第2回	7月16日	<p><就労移行支援事業所へのアンケートの内容について>出席委員6名</p> <p>*アンケートの内容について検討を行った。</p> <p>*今後の流れについて確認を行った。</p>
	第3回	9月24日	<p><アンケートの集計を受けて問題の抽出>出席委員6名</p> <p>*アンケートの集計結果を確認して、就労移行支援と就労定着支援の現状と課題の抽出を行った。</p>
	第4回	10月19日 予定	<答申に向けた準備>
	第5回	11月11日 予定	<答申に向けた準備>
	第6回	12月●日 予定	<答申に向けたまとめ>